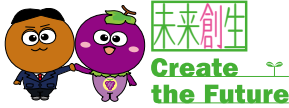


令和3年度

決算公表



問合せ：財政課

令和3年度決算の概要（各会計の決算が第3回定例市議会において認定されました。）

＜ 一般会計決算 ＞

歳入 467 億9,830 万円

歳出 462 億2,908 万円

■ 実質収支 5 億6,922 万円

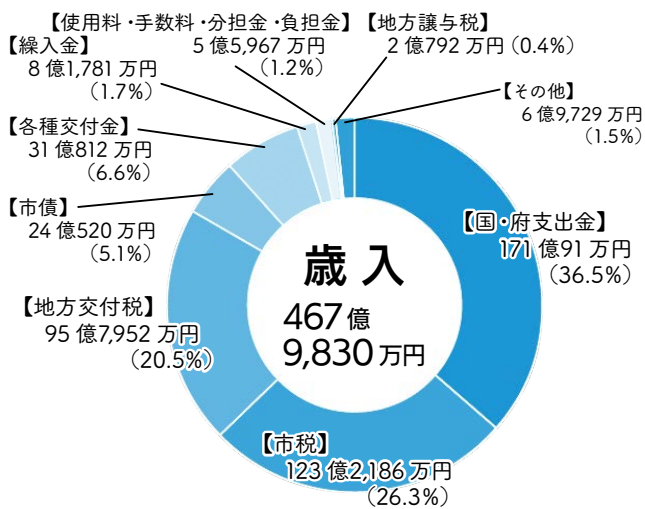
一般会計の歳入の総額は「467 億9,830 万円」、歳出の総額は「462 億2,908 万円」、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は『5 億6,922 万円』となりました。

〔歳入〕は、繰入金が570.5%、分担金・負担金が122.6%増加しているものの、市債が42.8%、国庫支出金が37.2%減少するなど、全体で前年度比15.2%の減少となっています。

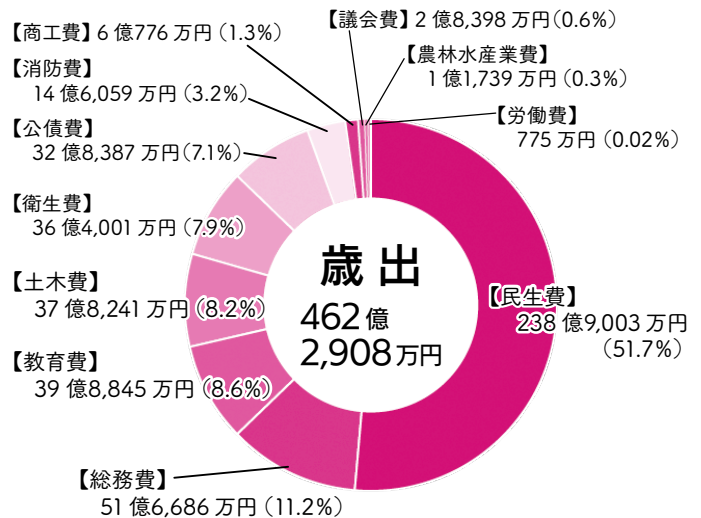
〔歳出〕は、衛生費が40.5%、土木費が38.1%増加しているものの、総務費が68.7%、公債費37.2%減少するなど、全体で前年度比16.0%の減少となっています。

令和4年度以降も、社会保障費や公共施設の老朽化対策等への支出と併せて、新型コロナウイルス感染症に伴う歳入歳出両面への影響もあることから、健全な財政運営を持続できるよう、今後も行財政改革の取り組みを進めてまいります。

一般会計歳入歳出決算の内訳



■ 市民1人あたりの市税負担額 11 万2,655 円



■ 市民1人あたりの歳出決算額 42 万2,658 円

※構成比および金額は単純四捨五入のため、合計が100%にならない場合や総額と一致しない場合があります。

指標でみる羽曳野市の財政状況 ★いずれの指標も基準内となっています

【健全化判断比率】財政の健康状態を表す4つの比率

| 指標 | 羽曳野市 | ⑤早期健全化基準 | ⑥財政再生基準 |
|-----------|---------|----------|---------|
| ①実質赤字比率 | 赤字額なし | 12.10% | 20.00% |
| ②連結実質赤字比率 | 赤字額なし | 17.10% | 30.00% |
| ③実質公債費比率 | 3.6% | 25.0% | 35.0% |
| ④将来負担比率 | 将来負担額なし | 350.0% | — |

※数値が低いほど、健全度が高くなります。

- ① 普通会計（一般会計＋土地取得特別会計）の赤字額より財政の健全度をみる比率
- ② 本市の全会計の赤字額から財政の健全度をみる比率
- ③ 借入金返済額などの大きさから財政の健全度をみる比率（政令市を除く大阪府内の都市平均は3.0%です。）
- ④ 本市の負債残高から将来の財政の健全度をみる比率（政令市を除く大阪府内の41市町村中、25市町村は将来負担額なしとなっています。）
※令和3年度決算では、将来償還していく地方債元金等の将来負

【資金不足比率】企業会計の経営状況の健全度をみる比率

| 指標 | 羽曳野市 | ⑦経営健全化基準 |
|---------|--------|----------|
| 水道事業会計 | 資金不足なし | |
| 下水道事業会計 | 資金不足なし | 20.0% |
| と畜場特別会計 | 資金不足なし | |



総務省ウェブサイト

- 担額よりも将来負担額に充当可能な財源等が多いため、将来負担額が算定されませんでした。
- ⑤ 基準を上回ると、財政健全化計画を立てて、自主的な改善努力が必要（「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」の早期健全化基準は、各自自治体の財政規模により異なります。）
- ⑥ 基準を上回ると、財政再生計画を立てて、国の関与を受け、確実な再生が必要
- ⑦ 基準を上回ると、経営健全化計画を定めなければならない

会計別歳入歳出決算額

(千円・%)

| 会計名 | 歳入 | | 歳出 | | 歳入歳出 差引額 |
|-------------|------------|-------|------------|-------|-------------|
| | 決算額 | 前年度比 | 決算額 | 前年度比 | |
| 一般会計 | 46,798,296 | 84.8 | 46,229,084 | 84.0 | 569,212 |
| 国民健康保険特別会計 | 13,083,115 | 104.5 | 12,912,317 | 104.8 | 170,798 |
| と畜場特別会計 | 63,450 | 107.6 | 63,450 | 107.6 | 0 |
| 財産区特別会計 | 1,536,677 | 97.2 | 52,429 | 114.6 | 1,484,248 |
| 介護保険特別会計 | 11,136,799 | 101.4 | 10,937,395 | 103.9 | 199,404 |
| 土地取得特別会計 | 955,697 | 262.0 | 955,697 | 262.0 | 0 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 1,939,245 | 101.7 | 1,878,107 | 101.6 | 61,138 |

(千円・%)

| 会計名 | 総収益 | | 総費用 | | 純損益 |
|---------|-----------|-------|-----------|------|---------|
| | 決算額 | 前年度比 | 決算額 | 前年度比 | |
| 水道事業会計 | 2,307,992 | 105.1 | 1,847,984 | 96.9 | 460,008 |
| 下水道事業会計 | 3,242,397 | 96.8 | 2,853,825 | 96.8 | 388,572 |

令和3年度 主要事業

新型コロナウイルス感染症対策事業 【51億1,852万円】

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 ●子育て世帯等臨時特別給付金事業 ●小学校給食無償化事業 ●中学校給食半額化事業 ●地域活性化(ワクチン接種者商品券配布)事業補助事業 ●羽曳野市事業者支援金事業 ●感染防止・防災セット購入補助事業などを実施

子ども医療費助成制度の対象年齢拡大 【4,857万円】

0歳から15歳まで対象としているものを18歳まで拡大

子ども家庭総合支援拠点の設置準備 【1,068万円】

令和4年4月からの「子ども家庭総合支援拠点」の設置を目指し、家庭児童相談体制の強化など、拠点設置に向けた取組みを実施

向野こども園の整備と登園管理システム導入 【5億413万円】

平成30年度以来整備を進めてきた市立幼保連携型認定こども園「向野こども園」が完成(令和4年4月開園)

また、保護者との情報共有の円滑化と業務の効率化を図るため、登園管理システムの導入準備を実施

市民プール整備事業 【1億1,960万円】

中央スポーツ公園内の市民プールについては、管理棟・歩道等を整備した第1期整備に続き、プールの本体整備に着手

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」環境整備事業および古墳保存整備事業 【2億1,401万円】

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値や魅力を広く発信し、古墳群の環境整備を実施

古市古墳群の保存と継承を図るため、史跡地の公有化および塚ヶ塚古墳の発掘調査を実施し、古市古墳群保存活用計画策定に着手

道路・橋梁整備事業 【1億6,306万円】

老朽化が進む道路・橋梁において舗装工事等を実施

都市計画道路八尾富田林線(羽曳野工区)の関連道路の整備に向けた検討を実施

市営住宅集約建替事業 【6億7,120万円】

安全で安心な住環境の確保を図るため、地域とも緊密に連携しながら、市営向野住宅の未耐震棟の集約建替を実施

財政状況の見える化

羽曳野市では、市民の皆様や議会の理解と協力を得ながら適切な行財政運営を行っていくため、羽曳野市の財政状況についてわかりやすく説明する「見える化」に取り組んでいます。

QRコードから、羽曳野市の財政状況の見える化資料をご覧いただけます。



財政課ウェブサイト

令和3年度 下水道事業の財政状況 (下水道事業会計決算の概要)

問合せ
下水道総務課

令和3年度は収益的収支において、3億8,857万円の当年度純利益を計上しました。しかしながら、一般会計からの繰入金 ※のうち基準外繰入金(収益的収支および資本的収支)は5億210万円になっており、基準

外繰入金がなければ赤字となる厳しい状況にあります。将来に渡り、安定した下水道サービスを提供できるよう、下水道事業における経営健全化の取り組みを進めてまいります。

■収益的収支(税抜)

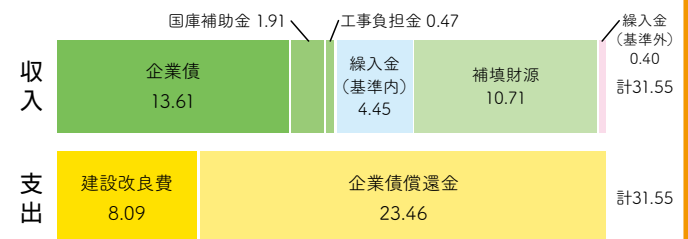
～使用後の水を処理場へ送り、適切に処理するための費用と収益～



(単位:億円)

■資本的収支(税込)

～下水道施設の建設や改良のための支出と収入～



(単位:億円)

※繰入金の種類は大きく2つに区分することができ、総務省が定める基準に合致した経費に対する繰入金を「基準内繰入金」、基準に合致しない例外的な繰入金を「基準外繰入金」と言います。基準内繰入金には雨水処理や分流式下水道等に要する経費などが挙げられます。基準外繰入金は下水道使用料収入や水冲洗率が低く経費を回収しきれない場合等に発生します。